

## 認知症サポーター活動促進事業の概要(案)

### 経緯

- 認知症施策推進大綱(令和元年6月18日決定)のKPI/目標値として、2025年度までに、「全区市町村で、本人・家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組み(チームオレンジ\*1など)を整備」することが明記。

\*1: ステップアップ講座を受講した認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につなげる仕組み

- 区市町村における認知症サポーターの活動促進に向けた取組については、令和2年度から、介護保険の地域支援事業に位置づけられる予定。

### 事業の概要(案)

#### 東京都

##### 【事業内容】

地域において認知症サポーターを活用した支援の仕組みづくりを担う人材を育成し、認知症サポーターの活動を促進する

##### 1 チームオレンジ・コーディネーター研修(仮称)の実施

チームオレンジの立ち上げや運営支援等を行うコーディネーターやチームリーダー等に対し、チームの運営等に関する研修を実施

＜講師＞ オレンジ・チューター\*2 等

\*2: 厚生労働省が実施する養成研修(令和2年度～)の修了者

＜規模＞ 年2回・300人程度

##### 2 キャラバン・メイト養成研修の実施

区市町村や企業等が行う認知症サポーター養成講座の講師となる「キャラバン・メイト」を養成する研修を実施

＜規模＞ 年5回・400人程度

##### 3 認知症サポーターの活動促進に向けた支援

区市町村へのチームオレンジの普及啓発、先進的な取組の紹介等

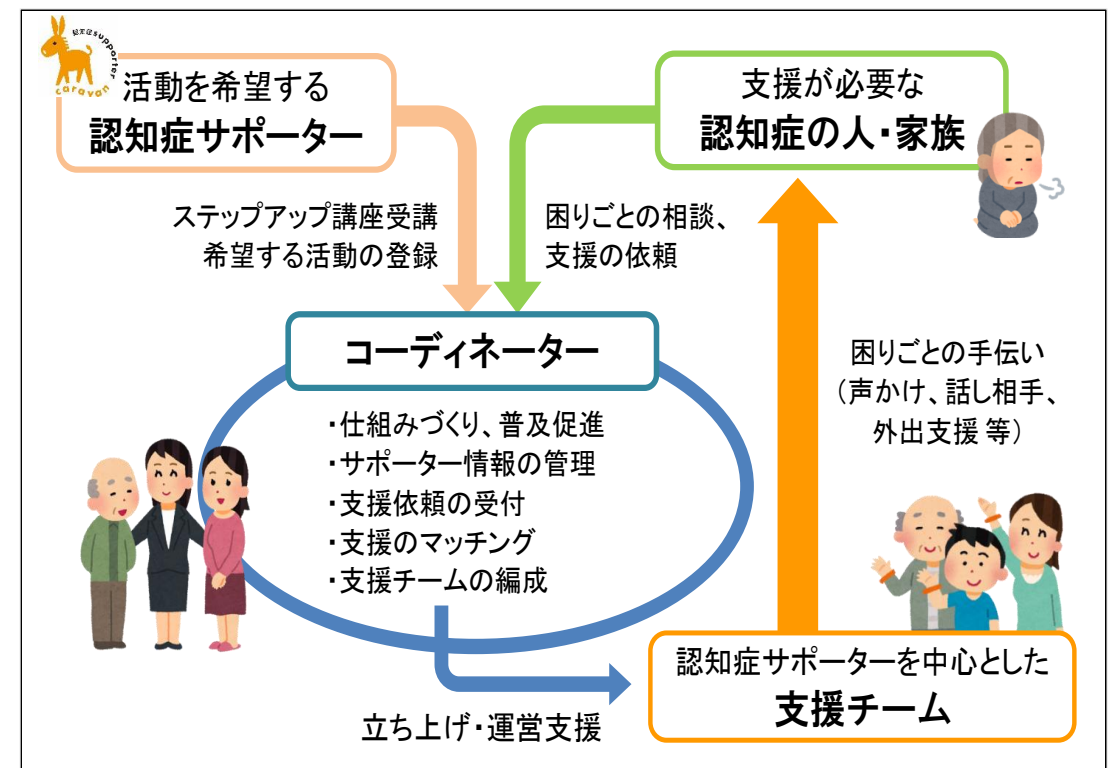
【事業実施期間】 令和2年度～令和5年度(4年間)

【令和2年度予算要求額】 4,737千円

側面的支援

#### 区市町村

- 地域において、認知症の人や家族の支援ニーズと認知症サポーター等をつなぐチームオレンジの活動等を推進



※区市町村は、地域支援事業交付金(国38.5%、都・区市町村各19.25%、1号保険料23%)を活用して事業を実施